

いつ。どうやって。どこへ？

防災マップ・ハザードマップを活用しましょう



町民一人ひとりが災害に対する備えをするため、災害時に「いつ」、「どうやって」、「どこへ」避難するのかを考えていただくために函南町防災マップを作成しました。
災害から身を守るため、日ごろから災害に備えましょう。

防災マップの特徴・内容

災害に備える上で重要なのは、災害の地域特性を知り、地域の実情に応じた対策を立てることです。
防災マップは、○地震・土砂災害用防災マップ○洪水・土砂災害用防災マップの各種災害を想定した情報書き込み用マップを中心に構成し、加えて災害時に役立つ学習情報などを簡潔に記載してあります。

おまけ

災害時に危険な場所・避難するルート、避難場所などを調べてマップに書き込み、皆さんにとって本当に役立つ防災マップを完成させてください。
それぞれのマップに赤いペンなどで直接記入してください。災害の種類に合わせて避難経路などを選択しましょう。

災害情報を知るには

方法1

「同報無線」
防災情報や町からのお知らせを、町内80か所にある屋外スピーカーから放送します。
同報無線の内容が聞き取りにくかった場合やもう一度確認したい場合などの際に、テレホンサービスで内容を再確認することができます。
(定時放送・12時のチャイムおよび子どもの見守り放送を除く)
通話料は無料。ただし利用できる範囲は、市外局番が「055」

「エリアメール」
緊急地震速報(震度6弱以上が予想される場合)が発令された場合には気象庁から、また、避難勧告や避難指示などの生命に関わる緊急性の高い情報が発令された場合は、町から配信されます。
携帯電話の電源が入っていれば、メール着信時に、マナーモードにしているでも音がなる仕様となっております。
※一部機種は受信できません。詳細は各携帯会社にお問い合わせください。



方法2

「同報無線」
防災情報や町からのお知らせを、町内80か所にある屋外スピーカーから放送します。
同報無線の内容が聞き取りにくかった場合やもう一度確認したい場合などの際に、テレホンサービスで内容を再確認することができます。
(定時放送・12時のチャイムおよび子どもの見守り放送を除く)
通話料は無料。ただし利用できる範囲は、市外局番が「055」



方法3

「同報無線」
防災情報や町からのお知らせを、町内80か所にある屋外スピーカーから放送します。
同報無線の内容が聞き取りにくかった場合やもう一度確認したい場合などの際に、テレホンサービスで内容を再確認することができます。
(定時放送・12時のチャイムおよび子どもの見守り放送を除く)
通話料は無料。ただし利用できる範囲は、市外局番が「055」



マップの活用方法

①家族全員で相談をしながら、災害時に危険な場所・避難するルート・避難する場所などを調べて防災マップに書き込みましょう。
②自宅周辺の状況を把握し、災害時の対応を考えるとともに家族で情報を共有しましょう。
③実用的で各家庭で本当に

マップの配布方法

役立つ防災マップを完成させましょう。
④完成させた防災マップは、毎年の防災訓練の日などに定期的に見直しをして確認しましょう。
⑤防災マップはいつでも持ち出せる場所に保管し、いざという時に活用できるようにしましょう。
防災マップは、各区・隣組を通じてすでに配布しました。その他、函南町役場総務課、函南町西部コミュニティセンター、函南町文化センター、函南町農村環境改善センターで配布しています。(総務課以外は平成27年3月末まで)
また、函南町ホームページ(<http://www.town.kanami.shizuoka.jp/>)からも入手することができます。

